

Rotary



国際ロータリー
第2520地区

令和5年4月16日(日)

於:仙台育英学園宮城野校舎

23-24年度 地区青少年奉仕委員長 早坂 竜太

同副委員長 麻生 菜穂美

地区研修・協議会 分科会「青少年奉仕部会」

【IA・RA・RYLA・青少年交換(長期)(短期)】

■分科会テーマ■

1. RAC との新しいパートナーシップ
2. 若手ロータリアンの人材育成

はじめに・・・

『青少年奉仕とは』 ※標準ロータリー定款第6条「五大奉仕部門」の5より

①指導力養成活動、②社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、③積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである

- ① 指導力養成活動・・・RALA セミナーの開催、IAC・RAC の活動による指導力養成など
- ② 社会奉仕 RJ・国際奉仕 PJ への参加・・・IAC・RAC の活動など
- ③ 積極的世界平和と異文化の理解を深め育む・・・青少年交換(長期・短期)など

※①～③の連携を深め ➡ さらに、青少年・若者によって好ましい変化がもたらされる

『ロータリーにおける青少年奉仕の歴史』 ※マイロータリーより

1. ロータリーにおける青少年奉仕は、1920年にニューヨークロータリークラブが、地元団体と共催した「Boy's Week(少年週間)」が起源
2. 交換プログラム(交換留学)は、1929年に米国とデンマークのロータリアンの子弟を相互に留学(ホームステイ)させたことが始まり
3. RYLA(Rotary Youth Leadership Award:ロータリー青少年指導者養成プログラム)は、1959年にオーストラリアのブリスベンロータリークラブがホストとなり、英国エリザベス女王が名代として派遣したアレクサンドリア王女と、青少年たちの交流会を開催したことが始まり
4. インターアウトクラブは、メルボルン・ロータリークラブ(米国フロリダ州)による提唱の下、1962年にメルボルン高校に最初のクラブのクラブが誕生
5. ローターアクトクラブは、年齢制限を迎えたインターアクトクラブの会員や大学生などの若者が、ロータリーで活躍できる場としてプログラム化され、1968年にシャーロット・ノース・ロータリークラブ(米国ノースカロライナ州)による提唱の下、1968年にノースカロライナ大学チャペルヒル校に最初のクラブが誕生

『分科会テーマ1: RAC との新しいパートナーシップについて』
《ローターアクトクラブ(RAC)に関する重要な決定事項と変更点》

- 2019年の規定審議会・・・RACのRI加盟が承認
- 2020年7月ロータリー章典の 変更
 - ・第2条 名称及び性格
RIは全世界のロータリークラブおよびローターアクトクラブの連合体である
 - ・第5条 会員
RIの会員は、(中略)ロータリークラブおよびローターアクトクラブをもって構成される
- 追加事項
 - ・2022年7月1日よりRACの人頭分担金徴収が開始
地域拠点のクラブ・・・会員1名につき8ドル/年
大学拠点のクラブ・・・会員1名につき5ドル/年
 - ・グローバル補助金プロジェクトで援助国側提唱者や実施国側提唱者になることが可能
- 変更事項
 - ・RACはスポンサークラブの有無に関わらず新たなクラブを設立可能
 - ・RACは他のRACをスポンサークラブとして選ぶことが可能
 - ・RAに関する方針は、ロータリー章典5章「プログラム」→改定後の第2章「クラブ」に移行
 - ・年齢制限が撤廃・・・18歳以上の全ての若い成人が入会可能(RACは会員の承認または、スポンサークラブの承認を得れば年齢制限を設定可能だが推奨ではない)
 - ・方針変更に基づき「標準ローターアクトクラブ定款」「推奨ローターアクト細則クラブ」改訂
 - ・すべての地区委員会にローターアクターを加えることがロータリー地区に奨励される
- 第2520地区2023-24年度行動計画における「RAC」の活動推進
 - ・RACとスポンサークラブ及び地区との新しいパートナーシップについての検討
 - ・RACの活動支援推進
 - ・RA新クラブ設立の促進支援

『分科会テーマ2: 若手ロータリアンの人材育成について』

- 若手ロータリアンの育成は、所属するロータリークラブまたは地区委員会活動において『青少年奉仕』のいずれかのプロジェクト、または事業等への積極的な参画が近道と考えます。
- 全てのロータリークラブには五大奉仕の「青少年奉仕委員会」はあるものの、IACやRACなどのスポンサーとなっていないクラブが多いのも実情です。
 - ・各クラブが、地域の青少年と関わる独自の活動を継続しながらも、近隣のIAC及びRACの活動に参加することや、従業者にIAC・RACへの入会を推薦するなど尽力頂くこともロータリアンとして青少年奉仕を学び成長できる大きな機会となります。
 - ・また、RYLA・青少年交換(長期・短期)等に会員の子弟や従業者を参加させることにより、青少年奉仕そのものと世界平和や異文化を深く理解する良い機会となります。

『地区青少年奉仕委員会の役割について』

- ロータリーのプログラム等に移行する若いリーダー(下記の例を参照)を支援し、スキル等の成長に合わせて少しずつリーダーシップを発揮できる機会を増やすなどして「奉仕の理想」を実践・広めるために尽力します。

例) インターアクト・青少年交換(長期・短期) → RYLA → ローターアクト・ロータリー

- プログラム間の連携および RA とのパートナーシップを深化・強化し、「奉仕の理想」を実践・広めるために尽力します。

『地区青少年奉仕委員会・構成委員会の役員と活動について』

※敬称省略

- 青少年奉仕委員会 / アドバイザー:松良千廣 委員長:早坂竜太 副委員長:麻生菜穂美

【IA・RA・RYLA・青少年交換(長期)(短期)】

- インターアクト委員会 / 委員長:佐藤知樹 副委員長:吉澤珠美・半澤修司

- ローターアクト・RYLA 委員会 / 委員長:小野智哉 副委員長:三浦 一

- 青少年交換(長期)委員会 / 委員長:佐々木史昭 副委員長:斎藤 賢

- 青少年交換(短期)委員会 / 委員長:佐藤 仁 副委員長:木村直樹

※構成する上記委員会の活動については、このあと各委員長より詳細説明をいたします。

■参考資料■

23-24 地区青少年奉仕委員長の早坂が所属する古川東ロータリークラブは、2019年にクラブ創設「40周年」を迎え、その年度のクラブ会長として9月に記念式典を開催しました。

※40周年に40名への会員増強(年度当初28名→12名増強)を会長の年度方針として掲げ、率先垂範により記念式典開催までの3ヶ月で12名増強を達成(結果的に年度内15名入会)

その際に掲げた記念事業のテーマには、古川東RCが長年に亘って取り組んできた中心的な奉仕活動として「青少年育成・奉仕」について振り返り、今後50周年に向けても中心的な奉仕活動として「青少年奉仕」を位置付けていくことを出席の皆様にご披露いたしました。

その際に、これまでの振り返りと今後の取組みを可視化するため、「持続可能な循環型ロータリアン育成プログラム」と題したイメージ図を作成しましたので、参考までに次ページにてご紹介いたします。

図に示す通り、学生(高校生・大学生)などを対象とした青少年奉仕活動は、①当時のロータリーの翼による海外研修 ②地元高校の1・2年生を対象としたキャリアセミナー(地元高校に毎年10名~15名の講師を派遣し、10年以上の継続により RI 意義ある業績賞受賞した活動) ③米山記念奨学生の継続的な受け入れを実施してきました。

また、若手の社会人を対象とした奉仕活動としては、当時の①G・S・E(研究グループ交換: Group Study Exchange) ②ローターアクトクラブの提唱と支援等を実施してきました。

それらの活動は、結果として新たなロータリアンの入会促進と若手ロータリアンの育成のためにも寄与しております。私も20歳~30歳までの間、古川東ローターアクトクラブの会員として育てられ、44歳で古川東RCに入会し現在もロータリアンとして活動しております。

【参考資料：古川東ロータリークラブ40周年記念事業のテーマ】

※現在のRIが掲げる方針や理想に向けて、さらに創意工夫を重ね取組みたいと思います



古川東ロータリークラブ創立40周年記念事業のテーマ

開催テーマ

次代を担う青少年の育成・奉仕…明日へ!!

当クラブは、「青少年育成・奉仕」の理念に基づき、長年、事業に取り組んできました。

高校生を対象としたキャリアセミナーの継続的な実施、また、社会人を対象としたロータアクトクラブの提唱を通じ、リーダーシップや職業スキルを磨き、ロータリーの心が浸透し、将来のロータリアンへと成長するよう具体的にサポートしてきました。

このような「持続可能な循環型ロータリアン育成プログラム」に基づいた活動を、これからも継続していこうという想い（…明日へ!!）を込め、開催テーマとしました。

【持続可能な循環型ロータリアン育成プログラム】

